

平成29年度 事業報告書

コース	<input type="checkbox"/> 自主事業コース <input checked="" type="checkbox"/> 協働市民提案コース <input type="checkbox"/> 協働行政提案コース
事業名	ハートフルスポ〜ツの集い
団体名	特定非営利活動法人スポーツライフ '91天城
担当課	スポーツ振興課

1 事業の成果

【短期的成果】

- ①障害者の誰もがスポーツをできる喜びを味わうことができる。そして、障害者の日常スポーツ活動につながる。⇒概ね参加者はスポーツを楽しむことはできた。
- ②障害者のスポーツのバリエーションが広がる。⇒従来の障害者スポーツと全く違うスポーツの普及が認識された。イベントへの協力依頼を受けた。(岡山県障害者スポーツ協会) 市外の障害者スポーツに興味ある方が視察に来られた。(リハビリ施設関係者)
- ③障害者が健常者と対等にスポーツすることで、自信を持って活動できる。そのことが生きがいづくりにつながる。⇒成果はあったと思料される。(事業継続の要望が出された。今年度事業への期待が寄せられた。昨年度よりの継続参加者が出てきた。)
- ④子供が抵抗感なく障害者と向き合うことができる。⇒概ね成果はあったと思料される。
- ⑤高齢者に優しいスポーツを提供することで、高齢者スポーツのバリエーションが広がり、高齢者スポーツ人口の増加につながる。=元気老人が増加する。⇒サロン主催者がサロンでできるスポーツのバリエーションを増やす目的で参加された。 他市より同様のスポーツイベント開催の希望がクラブにと届いた。
- ⑥高齢者が指導的立場に立って、障害者・子どもとスポーツすることで、高齢者の生きがいとなる。⇒参加された高齢者は指導的立場に満足されたと思う。
- ⑦三世代交流ができる。 また、三世代が技術面では50:50で交流できる。と同時に、お互いの弱いところをカバーすることで真の三世代交流が可能となる。⇒体現できた。 三世代交流大会の種目として行いたい旨が寄せられた。(用具の借用を希望)
- ⑧昨年度実績より障害者の参加者アップを目指し51人から54人に増加した。

【長期的成果】

- ①障害者イベントの拡充とスポーツ環境の変化
- ②障害者スポーツセンターの必要性の認識
- ③子供たちに障害者への理解を進める。
- ④高齢者が自分に応じたスポーツを見出す。
- ⑤倉敷市が主催する障害者も対象としたスポーツ・レクリエーションの集いへの発展⇒スポーツ振興課で1月に総合型地域スポーツクラブを中心としたニュースポーツイベントの開催。
- ①～④⇒光明は見えてきたが、いまだ道遠し(課題に記入)。

2 事業の自己評価

事業の成果を自己評価すると何点になりますか。計画通りであれば100点とします。なお、想定を大きく上回る成果を得ている場合は100点を超える点数を記入してください。

80

点

3 事業の課題

事業を実施する中で見えてきた課題を記入してください。

- ①日常活動には結びついていない。＝当該スポーツ用具を倉敷市の機関で貸与できる体制の充実を図る必要を感じた。(スポーツ用具が高価なため、購入はできないが、用具貸出しが可能ならばサロン活動に利用したい。また、障害施設のイベントに用具持参でスタッフを派遣の要望があった。)
- ②継続した活動を行いたい、障害者、高齢者は夜間の活動はリスクが大きいので、日中の活動及び活動場所が近いことが継続の条件となる。⇒条件のクリアが難しい。⇒出前講座(スポーツ推進委員を中心に行うべきと思う) ⇒地域が主体となってスポーツを行う環境の整備
- ③災害・傷病による後天的障害者のリハビリに役立つと思うが、そのような人の参加がない。⇒参加者を期待しているがその人たちに情報が届いていない。
- ④高齢者団体へのPRが不十分。(一般参加者が少なかった。) サロン活動の指導者の参加を呼び掛ける。(健康長寿課との連携)
- ⑤事業内容が市民に浸透していない。(PR不足)＝対象は障害者・高齢者・こどもの倉敷市民全体を対象とした事業であり、施設を対象とした事業ではない。特にターゲットを家庭にいる障害者・高齢者としておりそこへの情報提供者は民生児童委員であり、スポーツ推進委員と思われるのでより一層のアプローチが必要。＝倉敷市の関係部署より依頼する必要あり。⇒⇒この点が解決されないと全市的活動に発展しない。
- ⑥倉敷市・関係機関において手軽に誰でもできるスポーツ用具を貸与できる体制の充実が必要。⇒⇒単発事業に終わる可能性が大きい。⇒必要とする団体に用具の購入を助成。(用具購入を助成する団体はかなりあります⇒助成団体の活用方法をPRする必要がある。)
- ⑦障害者のスポーツを推進する体制(組織)づくり。(障害者＝福祉の考えからの脱却しなければ、全市的活動に発展しない。)
- ⑧軽スポーツを必要とする施設・団体にそれぞれの施設・団体に適した軽スポーツがあることをPRする必要がある⇒医療費の減少につながる。
- ⑨小学校・中学校の特殊学級にPRできないものか?
- ⑩障害者のバリアを取り除く努力を感じる。(双方)
- ⑪障害者団体との連携。障害者のスポーツを推進する行政との連携。
- ⑫政府は本格的に障害者のスポーツを推進する態勢をとった。(スポーツ庁はスポーツ基本法にのっとり日本スポーツ協会に全国の総合型地域スポーツクラブに対して積極的に障害者のスポーツを推進するようになった。⇒全国の研修会で障害者のスポーツ導入のための研修を本格化)

4 事業実施記録

実施した事業の詳細を記入してください。

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の人数
<p>カローリング、スマイルボウリング、スカットボール、ディスコン、ソフトバレーボール、バウンドテニス、スイートテニス、バウンスボール（正球、楕円球、ふらば～るを使用）</p> <p>以上8種目を参加者のレベルに合わせて試合が楽しめるように指導。</p> <p>ボランティアの中学生も多く、今後の活動のための研修。(ルールや障害者への接し方などを指導)</p>	<p>平成29年 7月30日 (日曜日) 13時30分～ 15時30分</p>	<p>くらしき健康 福祉プラザ体 育館</p>	<p>【天城】 男性7人 女性4人 【協議会】 男性1人 女性2人 (応援参加)</p>	<p>【障害者】 男性2人 女性3人 【健常者】 男性14人 女性6人 【その他】 スポーツ推進 委員2名</p>
<p>カローリング、デッキスティックゲーム アップダウン、バウンスボール（正球）、 ミニバレーボール（ふらば～る）、キャッチボ ール、卓球バレー、ヒューストン、ユニカ ール、 以上9種目。</p> <p>障害者の参加が少ないのにショック！ 障害 者のある低学年の小学生が次々といろいろの 種目に挑戦。高校生は最初より参加している 子、スタッフと試合を楽しむ。</p>	<p>平成28年 8月6日 (日曜日) 13時30分～ 15時30分</p>	<p>くらしき健康 福祉プラザ体 育館</p>	<p>【天城】 男性7人 女性4人 【協議会】 男性2人 (応援参加)</p>	<p>【障害者】 男性6人 女性1人 【健常者】 男性13人 女性14人</p>
<p>カローリング、スマイルボウリング、ソフト バレーボール、ラケットテニス、シャッフル ボード、ラダーゲッター、バウンドテニス 以上7種目</p> <p>お盆を挟んで期間が開いたため、参加者の少 ないことが予想された。</p> <p>顔なじみの障害者なので、参加者、スタッフ と一緒に楽しむ。</p> <p>中学生用に動きのある種目を用意した。中 学生はお年寄りのスタッフに挑戦していたが、 何をやってもスタッフに跳ね返されていた。 自分のおじいさん、おばあさんと比べて元 気の良い老人にびっくり！</p>	<p>平成28年 8月20日 (日曜日) 13時30分～ 15時30分</p>	<p>くらしき健康 福祉プラザ体 育館</p>	<p>【天城】 男性7人 女性4人 【協議会】 男性2人 (応援参加)</p>	<p>【障害者】 男性2人 女性2人 【健常者】 男性12人 女性7人</p>
<p>カローリング、スマイルボウリング、スカ ットボール、デッキスティックゲーム 卓球バレー、卓球、シャッフルボード、 キャッチングザスティック、ヒューストン バスケットピンポン、ラケットテニス ラダーゲッター、アップダウン ストラックアウト（ドッジビーを使用） 空き缶ボウリング</p> <p>その他に3種目を持参していた</p> <p>以上15種目</p> <p>参加者の状況を見て種目を適宜変更</p> <p>就労支援施設ぼけっとより18名が参加（3 年連続＝男性14、車いす2）職員6</p> <p>障害の種類は多様で複数障害者が多く、か なり重度の人もある。種目数も多いので会 場が狭くなる。（車いすの場合広さの確保が 必要）</p> <p>スタッフと健常者の参加者で補助しながら 障害者を中心にスポーツを楽しむ。夏ボラの中</p>	<p>平成28年 8月22日 (火曜日) 13時30分～ 15時30分</p>	<p>くらしき健康 福祉プラザ体 育館</p>	<p>【天城】 男性7人 女性3人 【協議会】 男性2人 【夏ボラ】 男性1人 (応援参加)</p>	<p>【障害者】 男性17人 女性7人 【健常者】 男性14人 女性9人</p>

<p>高生は最初戸惑っていたが、施設職員やスタッフの動きを見ながら障害者の活動を補助してくれた。中高生に非常に良い機会が提供できた。</p> <p>ぼけっとの障害者は2便に分けて来場（1度に運べない）2陣が来るまでみんなで卓球バレーを楽しむ。</p> <p>ポケットは15時で切り上げ（家族の迎が来る）、最後にスタッフ全員で障害者に表彰状を授与（毎回、非常に喜ばれる）</p> <p>通常このようなイベントには障害者一人に職員一人が付き添うが、過去の実績を踏まえ安心して参加してもらえらる。</p> <p>施設外の障害者（特に子供）とのコミュニケーションを心配したが、スタッフ参加者全員の協力でなにげにも無事終了。</p>				
<p>カローリング、スマイルボウリング、スカットボール、デッキスティックゲーム クロリティー、空き缶ボウリング 以上6種目</p> <p>夏休みも終わり参加者が減ると考えたので、プラザにある支援施設に声かけをしていた。障害者6名（車いす2）と職員5名が参加。車いす利用者とひざの悪い人はクラブ作成のキューを利用していただく。</p> <p>障害の程度に応じてできる種目があることを認識していただく。</p>	<p>平成28年 9月5日 (火曜日) 13時30分～ 15時30分</p>	<p>くらしき健康 福祉プラザ体 育館</p>	<p>【天城】 男性7人 女性3人</p>	<p>【障害者】 男性 6人 女性 4人 【健常者】 男性 5人 女性 7人</p>
<p>カローリング親善交流大会 岡山市福田公民館のニュースポーツクラブ員（天城が用具持参で育成=約20年前より）3チーム。</p> <p>当日参加者はクラブ員4名のみ。1名加えてチーム編成。ハートフルに参加してくれた障害者の方が誰も参加しなかった。（PR不足）</p> <p>昨年は小学生の参加者1名とボランティア参加者3名が参加してくれたのに！</p> <p>来年は早くからカローリングの交流会をPRしながら運営していきたい。</p> <p>クラブや岡山県カローリング協会から賞品の提供を受けた。</p> <p>各3試合を行う。</p> <p>1試合目は霞野が組み合わせを行い、2・3試合は得点順に組み合わせを行う。</p> <p>今回は勝敗よりも得点を重視。</p> <p>優勝・準優勝は平均年齢75歳の女性のみのチーム、得点も51点（サイドスコアで順位決定）。3位は平均年齢71歳の男性チーム、得点50点（油断したのか1回戦でブービーチームと少得点を行い惜敗）</p> <p>3位・4位チームが優勝候補の筆頭チームでした。これがカローリングの魅力。（力もいらず、運動量も少なく、障害者も高齢者も小学生も参加できる。）</p> <p>参加費1名500円。</p>	<p>平成28年 9月10日 (日曜日) 12時00分～ 16時00分</p>	<p>くらしき健康 福祉プラザ体 育館</p>	<p>【天城】 男性 5人 女性 1人</p>	<p>【障害者】 男性 1人 女性 2人 【健常者】 男性17人 女性10人</p>

収支精算書

(収入の部)

(単位：円)

項目	予算額	収入済額	主な収入の内訳
受益者負担 (参加費, 受講料など)	18,000	15,000	カローリング親善交流大会 500×30 人
会費からの繰入金	136,000	325,830	NPO法人スポーツライフ'91天城負担金
その他 (対象外経費)	0	70,000	岡山県体協備品購入助成金 60000- 岡山県レクリエーション協会助成金 10000-
市補助金	270,000	269,000	
合計	424,000	679,830	

(支出の部)

(単位：円)

区分	項目	予算額	支出済額	主な支出の内訳	
費① (対象経費)	人件費(団体会員に支払うもの, 交通費を含む)	31,000	35,900	スタッフ人件費 234247- スタッフ交通費 15930- 一人分計上(残余は対象外経費に計上)	
	交通費 (クラブ員に支払うもの)	2,000	0		
	消耗品費	277,000	266,731	山下体育社(テープ、SVBほか) 42444- 日レク(ヘアリング、ポイントリボンほか) 148521- うさぎや(賞状, 色模造紙他) 17395- 17,423- 岡山紙業(カー用紙) 11693- エディオン(インカートリッジ) 22653- 小野祥楽堂(看板和紙) 14148- マルナカ(ティッシュ)855- BT協会(ボール)5200- ダイキ(ボール止め財) 3794-	
	印刷製本費	7,000	11,215	倉敷市市民活動センター(コピー代, 印刷代)	
	通信運搬費	10,000	9,300	切手 9200- 駐車料 100-	
	保険料	9,000	5,859	1日50人予定 参加定員人数で精算	
	使用料, 賃借料	30,000	30,000	軽4トラック借損料 5,000×6日	
	小計	366,000	359,005		
	経費② (対象外経費)	食料費	8,000	0	参加賞として予算取り(賞品代へ)
		備品代	0	85,320	スマイルボウリング(備品費)
賞品代		20,000	11,228	賞品代 8169- 参加賞 3059-	
その他		30,000	224,277	看板筆耕謝礼 10000- 人件費・交通費 215000 214,277	
小計		58,000	320,825		
合計	424,000	679,830			

特定非営利活動(NPO)法人

スポーツライフ'91天城

代表幹事 三村 順二

